

### その3 視覚支援シンボル Drops (ドロップス) を使った iPhone, iPad 向け VOCA アプリ DropTalk(ドロップトーク)と DropTalk HD(ドロップトーク HD)の紹介



VOCA (ヴォカ) とは、話し言葉でのコミュニケーションを苦手とする、自閉症や言語障害を持つ方のコミュニケーションを画像シンボルや音声でサポートする機器の事を言います。とても高価な機器ですが、最近ではスマホやタブレットのアプリとして手軽に使えるようになってきています。

その中の一つ DropTalk(ドロップトーク)には、これまで紹介してきた Drops(ドロップス)というシンボルが内蔵されており、すぐに使えるのはもちろん、必要な画像をカメラで撮って音声をその場で付け加えるといったカスタマイズが容易に行えます。

DropTalk には 3 種類あります。

<p>● iPhone 版</p>  <p><a href="#">DropTalk</a> (1300 円)</p> <p>★<a href="#">基本操作</a></p>	<p>● iPad 版</p>  <p><a href="#">DropTalkHD</a> <a href="#">DropTalkHDFree</a> (3000 円) (機能限定版 0 円)</p> <p>★<a href="#">基本操作</a></p>	
---	--	--

(「基本操作」をクリックすると操作方法のビデオが見れます。価格は 2014 年 12 月現在)

DropTalk には目的の画像をタッチして音声を出す「単語モード」と、いくつかの画像を順番にタッチして並べて、文章の様に音声を出す「文章モード」があります。

iPad 版の DropTalkHD では、キャンバス (画像が並んだ画面) が複数使えたり、キャンバスのボタン配置の種類が増えたりしています。また、読み上げ時にシンボルを拡大表示できたり、ボタンにシンボル名を表示できたりと、いろんな機能が使えます。

また、パソコンや iPad のアルバムの画像を使って新しいシンボルを作成したり、iPad のカメラを使って新しいシンボルを作成する方法は[このページ](#)に動画の説明があります。

VOCA アプリには DropTalk の他にも「vocaco」「描けるセルボイスレコーダー」など無料版があるものなどありますが、DropTalk は Drops シンボルがセットになっていて、すぐ使いやすいところが特徴です。まず、無料版をいれて他の VOCA アプリと比べながら使ってみてください。